

## だい10か課

かみ  
神さまは  
あなたを  
みちびか  
れる



かみ  
神さまについて、このことを  
おぼえておきましょう。

かみ  
神さまは、アブラムに、<sup>したが</sup>従ってくるように、<sup>よ</sup>呼びかけられました。

かみ  
神さまは、<sup>したが</sup>従ってくるものをみちびき、しゆくふくしてくだ  
さいます。神さまは、あなたを、<sup>かみ</sup>神さまの本である、<sup>ほん</sup>聖書を<sup>せいしょ</sup>と  
おして、みちびかれます。



このみことばは、<sup>せいしょ</sup>聖書に  
あります。声<sup>こゑ</sup>をだして、5  
回<sup>かい</sup>読んで<sup>くだ</sup>下さい。

<sup>しゆ</sup>主はアブラムに<sup>おほ</sup>仰せられた。  
「あなたは、あなたの<sup>う</sup>生まれ故  
<sup>きやう</sup>郷、あなたの<sup>い</sup>父の家を出て、  
わたしが<sup>しめ</sup>示す<sup>ち</sup>地へ<sup>い</sup>行きなさい。  
……あなたを<sup>おほ</sup>大いなる<sup>こく</sup>国民とし、  
あなたを<sup>しゆく</sup>祝福し、あなたの<sup>な</sup>名  
を<sup>おほ</sup>大いなるもの<sup>を</sup>としよう。

<sup>そうせい</sup>創世記12：1、2

できるかな？

正しいと思うことばを、○で囲んで下さい。

1. 神さまは、だれをしゆくふくすると、やくそくされましたか。 アブラム、 ニムロデ、 カイン。
2. アブラハムは、何の父になるのですか。  
小さなぶぞく、 大きな国民、 一つのかぞく。
3. 神さまは、あなたをみちびくのに、何を使われますか。  
星、 聖書。

## 答 え

1. アブラム。 2. 大きな国民。 3. 聖書。

## ことばのお勉強

ウルは、アブラムが住んでいた町です。

カナンは、神さまが、アブラムをみちびいて行かれた国です。



神さまは、アブラムに、従ってくるよ  
うにと呼びかけられ  
ました。

●から●までの、ぜんぶの  
ことばの下に、線を引いて  
下さい。

バベルをさって行った人  
びとは、ウルまちの町つくを作りま  
した。

アブラムはウルで生まれました。アブラムのお父さんは、いろいろな神たちをおがんでいました。アブラムのじだいの人びとは、見ることも、聞くこともできない、おおくの神たち（神がみ）を、おがみました。

かれらは、ただひとりの、まことの神を知らなかったのです。

●かれらは、ただひとりのまことの神について書いてある、聖書を持っていませんでした。●

アブラムは、まことの神さまをしりませんでした。

しかし、神さまは、アブラムを知り、愛しておられました。

神さまは、アブラムを呼び、話しかけられました。

「あなたの国、あなたの家をはなれなさい。あなたの父の神がみをはなれなさい。」



●「わたしがしめす地まで、わたしに従ってきなさい。」●

神さまは、従うものを、みちびき、しゆくふくして下さいます。

神さまはアブラムに、「わたしについてくるなら、あなたをしゆくふくし、あなたを大いなる人にする。あなたをしゆくふくし、あなたは、しゆくふくのもととなる。」とやくそくされました。

アブラムは、ただひとりのまことの<sup>かみ</sup>神さまが、じぶんを<sup>よ</sup>呼ばれたことがわかりました。

●アブラムは、<sup>かみ</sup>神さまが<sup>かた</sup>語られたことを<sup>しん</sup>信じました。●



アブラムのつまサライも、<sup>かみ</sup>神さまのやくそくを<sup>しん</sup>信じました。

アブラムとサライは、ウルの<sup>まち</sup>町をでました。

●かれらは、<sup>ひと</sup>人びとが<sup>つく</sup>作った<sup>かみ</sup>神たちをすてました。●

●かれらは、ただひとりのまことの<sup>かみ</sup>神さまに<sup>したが</sup>従いました。●

●アブラムと<sup>かみ</sup>神さまは、<sup>なか</sup>仲よしでした。●

アブラムは、<sup>かみ</sup>神さまとお話しました。

<sup>かみ</sup>神さまは、アブラムとお話しました。



神さまは、アブラムといっしょに歩いて下さり、どの道をおたらいいか、教えられました。

● 神さまは、アブラムをカナンの地まで、みちびかれました。●

アブラムとサライが住むところでは、どこでも、神さまに、さいだんをきずきました。

かれは、アベル、エノク、ノアがしてきたように、神さまに、いけにえをささげました。

アブラムは、おおくの人のしゆくふくのもとであり、助けでありました。

かれは、人びとに、生きた、まことの神さまについて話しました。

● 神さまは、するとやくそくされたことは、かならずなさいます。●

神さまは、アブラムをしゆくふくし、お金もちにしました。でも、アブラムは年をとり、子どもがいませんでした。それでも、かれは、神さまのやくそくを信じました。神さまは、アブラムが神さまを信じていたので、喜ばれました。

神さまは、アブラムの名まえを、アブラハムにかえられました。アブラハムとは、「おおくの人の父」といういみです。



神さまは、サライの名まえをサラとかえられました。サラは「王女の母」といういみです。

神さまは、アブラハムとサラにイサクという、むすこを<sup>あた</sup>与えました。そして、かれから、<sup>おお</sup>大きな<sup>こく</sup>国民が<sup>う</sup>生まれてきたのです。

神さまは、あなたを、神さまの本である聖書をとおしてみちびかれます。

聖書の中で、神さまは、あなたが、神さまに<sup>したが</sup>従うようにと、まねいておられます。

神さまは、あなたをみちびき、しゆくふくすると、やくそくしておられます。

神さまは、あなたが<sup>なに</sup>何をしたらよいか、<sup>おし</sup>教えて<sup>くだ</sup>下さいます。

●神さまにしたがって下さい。そうしたら、神さまは、あなたを<sup>てん</sup>天国にみちびいて<sup>くだ</sup>下さいます。●

どんなたいせつなものを、あきらめなくてはならなくても、アブラハムのように、<sup>かみ</sup>神さまに<sup>したが</sup>従って<sup>くだ</sup>下さい。

神さまは、あなたを<sup>たす</sup>助け、<sup>なに</sup>何をしたらいいのか、<sup>おし</sup>教えて<sup>くだ</sup>下さいます。

おいのり

アブラハムは、生まれこきようをはなれ、<sup>とも</sup>友だちをはなれて、<sup>いつ</sup>一生の間、<sup>かみ</sup>神さまに<sup>したが</sup>従って行きました。

わたしも、<sup>かみ</sup>神さまに<sup>したが</sup>従わせてください。

どうか、<sup>かみ</sup>神さまに<sup>ちか</sup>近く<sup>あゆ</sup>歩ませてください。

また、<sup>かみ</sup>神さまも、わたしのそば<sup>ちか</sup>近く<sup>あゆ</sup>歩んでください。



★この本の<sup>はん</sup>問題集<sup>た</sup>を出して、<sup>たい</sup>第10課<sup>か</sup>の<sup>しゆく</sup>ところの、<sup>たい</sup>宿題<sup>たい</sup>をしなさい。